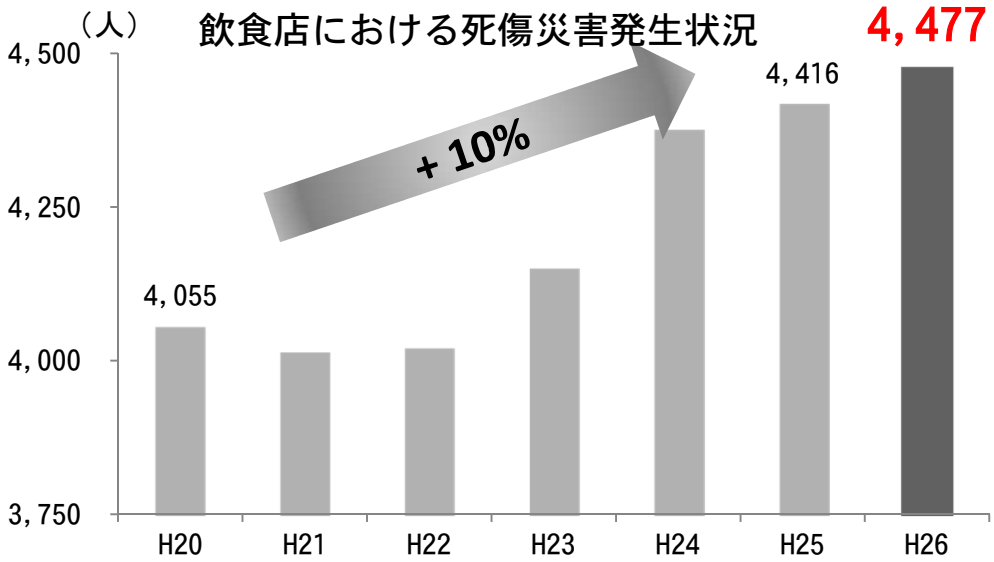
飲食店における労働災害発生状況

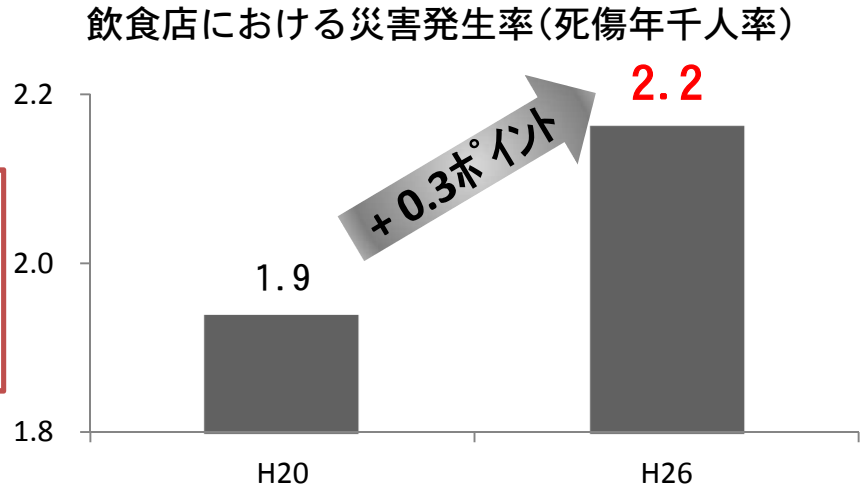
休業４日以上の死傷災害

- 飲食店における労働災害は、平成２１年より年々増加している。
- 平成２６年までの６年間で１０％増加しており、前年比でも１％増



災害発生率

- 災害発生率（1000人当たりの災害発生件数）は、５年前と比較して０．３ポイント増



出典：労働災害件数は**労働者死傷病報告**より、
災害発生率は**労働力調査**より集計した値を使用

飲食店における労働災害発生状況

事故の型別死傷者数内訳

- 「転倒」が28%を占め、次いで「切れ・こすれ」（24%）が多く、この二つで52%を占める。

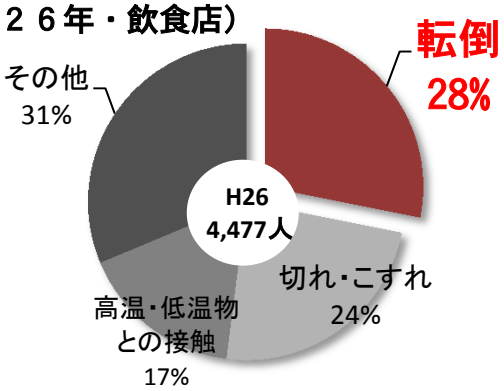
経験年数/年齢別数別死傷者数内訳

- 経験年数３年未満の死傷者が、全体の58%を占める。
- 30歳未満の死傷者数が全体の１／３

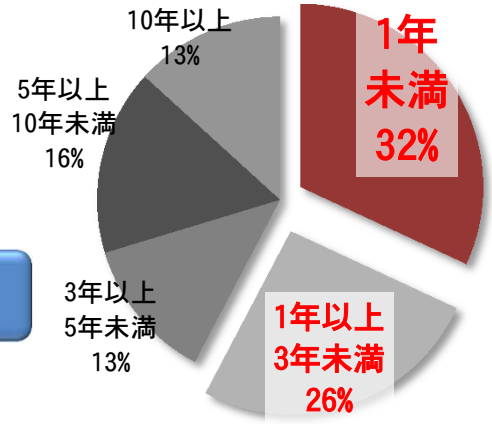
災害発生時間帯

- ９～１２時の時間帯に最も災害が発生している(22%)ほか、１８～２０時に被災する例も多い(18%)。

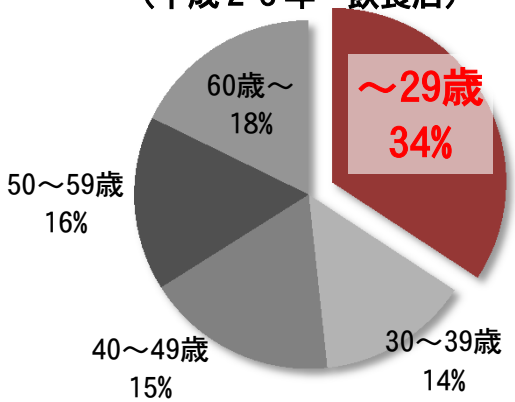
事故の型別　死傷災害発生状況
（平成２６年・飲食店）

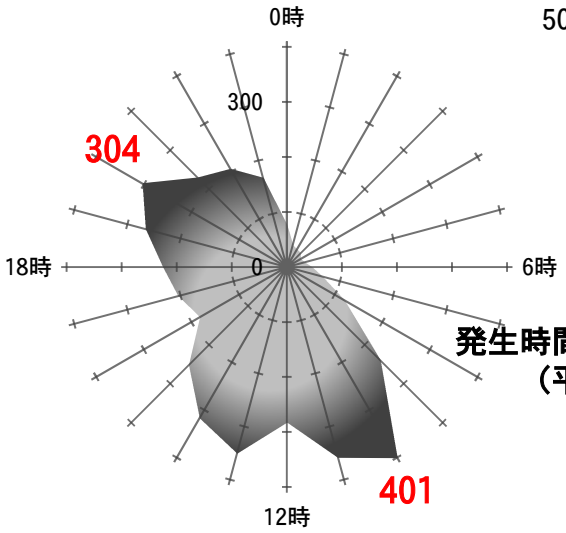


経験期間別　死傷災害発生状況
（平成２６年・飲食店）



年齢別　死傷災害発生状況
（平成２６年・飲食店）





発生時間帯別　死傷災害発生状況
（平成２６年・飲食店）

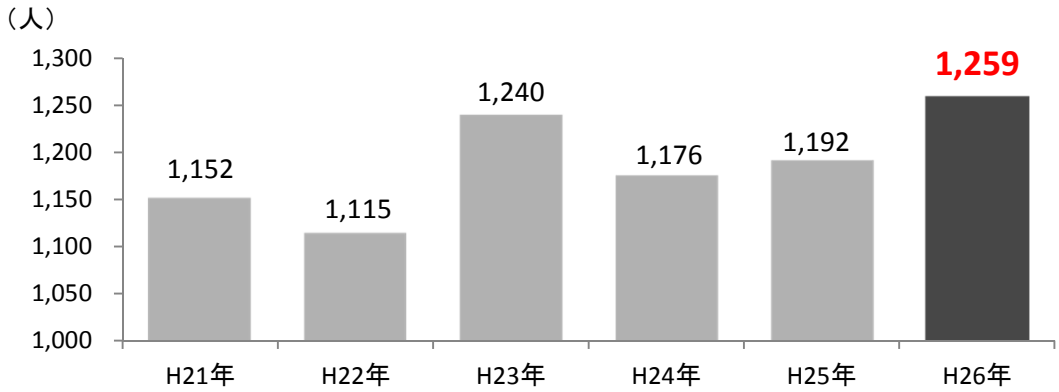
出典：労働者死傷病報告より集計した値を使用

飲食店における転倒災害の発生状況

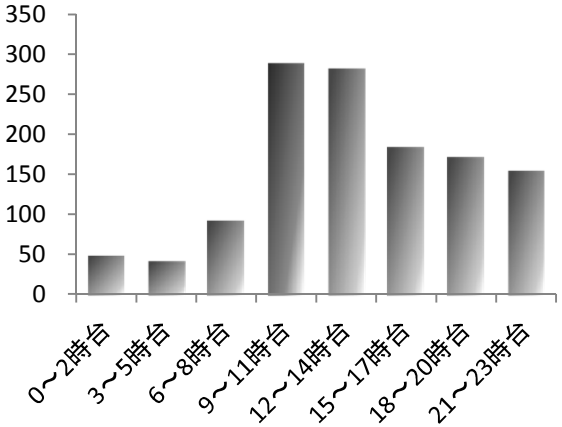
ポイント

- 飲食店の労働災害は増加傾向にあり、平成26年は4,477件で前年同期に比べ1%増加している。
- このうち、転倒災害は平成26年では1,259件で全体の28%を占め、前年と同水準。
- 飲食店における転倒災害の特徴は
  - 9～11時台に多く発生。
  - 50歳以上の災害が約６割を占め、年々増加傾向にある。
  - 休業見込が1月以上の災害が約6割。

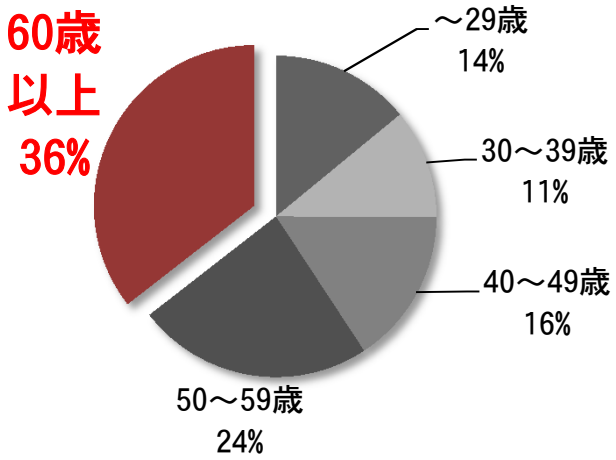
転倒災害発生状況の推移
（飲食店）



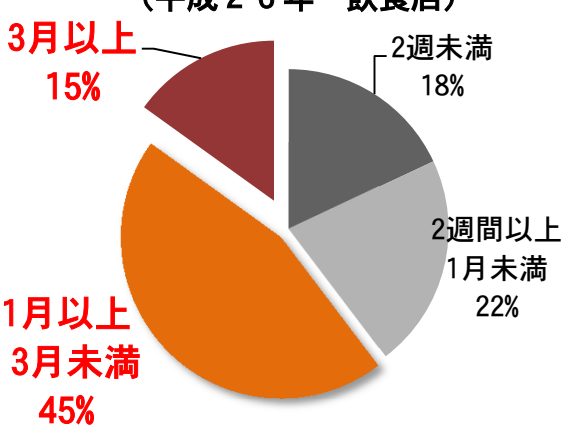
発生時間別　転倒災害発生状況
（平成２６年・飲食店）



年齢別　転倒災害発生状況
（平成２６年・飲食店）



休業見込期間別
転倒災害発生状況
（平成２６年・飲食店）



出典：**労働者死傷病報告**より集計した値を使用